

## 第35回島根県雲南市「永井隆平和賞」発表式典について

### (1) 日時、会場

令和7年9月14日（日） 雲南市木次経済文化会館チェリヴァホール  
2階 大ホール

13:00～13:30 受付

13:30～14:40 式典

14:50～15:50 記念講演

「平和をつなぐ ～ノーベル平和賞授賞式に出席して～」

日本原水爆被害者団体協議会 代表理事 本間 恵美子 氏

16:00～ 記念撮影

### (2) 永井隆平和賞の趣旨

雲南市三刀屋町出身の永井隆博士は、放射線医学の研究と原子爆弾により白血病に侵されながらも、『長崎の鐘』や『この子を残して』などの名作を著し、「己の如く人を愛せよ」という言葉とともに「平和を」の願いを全世界に訴えつづけられた。その精神を、未来を担う若い世代に伝え、人類普遍のテーマに取り組む機会と出会いの場を提供し、明るい日本の未来づくりに資するものです。

募集内容・・・「愛」と「平和」に対する考えやメッセージを表現した作文

募集期間・・・令和7年6月1日（日）～7月28日（月）

募集対象・・・全国の小学生・中学生・高校生および一般

※5月下旬に全国の小・中学校、高校、大学など1,980箇所へ要綱等を発送

### (3) 応募状況（過去2カ年度との比較）

部門 \ 年度	令和7年度 (第35回)	令和6年度 (第34回)	令和5年度 (第33回)
小学校低学年の部	103	97	102
小学校高学年の部	371	493	376
中学校の部	175	164	222
高校の部	171	148	194
一般の部	41	50	54
合計	861	952	948

令和7年度 島根県内587点（うち雲南市559点）、島根県外274点

### (4) スケジュール

8月1日（金）：第一次選考委員会 小学生・中学生・高校生・一般の部

8月12日（火）：第二次選考委員会

8月21日（木）：最終選考委員会

※各部門とも最優秀賞1名、優秀賞1名、佳作若干名を選出

## 第35回島根県雲南市「永井隆平和賞」 受賞作品一覧

### (小学生低学年の部)

結果	氏名	ふりがな	学年	題名	学校名
最優秀賞	福留 沙依	ふくどめ さよ	3	わたしにとっての平和	雲南市立三刀屋小学校(島根県)
優秀賞	若狭 早	わかさ そう	2	心にとどく	愛媛大学教育学部付属小学校(愛媛県)
佳作	岡田 琉位	おかだ るい	3	ぼくが今できること	雲南市立三刀屋小学校(島根県)
佳作	飯塚 陽菜	いいつか ひな	2	わたしにできること	雲南市立鍋山小学校(島根県)

### (小学生高学年の部)

結果	氏名	ふりがな	学年	題名	学校名
最優秀賞	浦野 恵奈	うらの えな	6	青空を見上げて	星美学園小学校(東京都)
優秀賞	堀江 将輝	ほりえ まさき	6	ぼくの責任	雲南市立田井小学校(島根県)
佳作	米原 あさひ	よねはら あさひ	6	「ふうちゃん」	雲南市立大東小学校(島根県)

### (中学生の部)

結果	氏名	ふりがな	学年	題名	学校名
最優秀賞	村島 心月	むらしま みつき	2	好きなことのできる幸せ	糸満市立兼城中学校(沖縄県)
優秀賞	藤原 和奏	ふじはら わかな	9	語り継げ、青の記憶。	島根大学教育学部附属義務教育学校(島根県)
佳作	千葉 結莉	ちば ゆいり	3	平和への架け橋	糸満市立三和中学校(沖縄県)
佳作	高倉 未羽	たかくら みわ	8	Tくんに出会って変わった心	島根大学教育学部附属義務教育学校(島根県)

### (高校生の部)

結果	氏名	ふりがな	学年	題名	学校名
最優秀賞	黒木 大誠	くろき たいせい	5	証	東京大学教育学部附属中等教育学校(東京都)
優秀賞	小西 琉偉	こにし るい	3	問い続けた先に	近江兄弟社高等学校(滋賀県)
佳作	田村 祐希	たむら ゆうき	3	命どう宝。	山梨県立甲府第一高等学校(山梨県)
佳作	安慶田 翔子	あげだ しょうこ	2	ちかいのことば	沖縄県立那覇高等学校(沖縄県)
佳作	亀尾 美月	かめお みづき	1	思いをツナグ	島根県立出雲高等学校(島根県)
佳作	千田 立煌	ちだ りおん	1	三年の無関心	青森私立山田高等学校広域通信課程(青森県)

### (一般の部)

結果	氏名	ふりがな	年齢	題名	都道府県
最優秀賞	長谷川 勝士	はせがわ かつし	74	叔父の長袖	兵庫県
優秀賞	何 琦璠	か きはん	27	誤解がつくる壁、理解をひらく窓	宮城県
佳作	小村 紀江	おむら のりえ	66	1分間の黙とう	島根県
佳作	永濱 美智子	ながはま みちこ	64	蝉の季節	京都府



# 永井隆平和賞発表式典

- 戦後80年、今こそ「平和を」 -

折り鶴とシン・アートで会場を彩ります

市民のみなさんと作成した



戦後80年、今こそ「平和を」 - 永井隆博士の思いを受け継いできた平和賞も第35回を迎えました。全国から応募のあった作品の中から5つの部門で選ばれた優秀作品を発表します。

また、今年は関連事業として、市民の皆様によびかけ折り鶴とシン・アートの花を作っていただきました。「平和を」の都市宣言をした雲南市から、あらためて平和への思いをつないでいきましょう。

令和7年 9月14日【日】

時間 発表式典 13時30分  
講演 14時50分

会場 雲南市木次経済文化会館  
チェリヴァホール 2階大ホール

雲南市木次町里方55番地 JR木次駅前

講演 平和をつなぐ  
ノーベル平和賞授賞式に出席して  
日本原水爆被害者団体協議会 代表理事 本間 恵美子 氏

入場  
無料

講師

Emiko Homma

本間 恵美子 氏

日本原水爆被害者団体協議会  
代表理事

被爆2世では初めてとなる日本  
原水爆被害者団体協議会（被団  
協）の中国ブロック代表理事  
島根県原爆被害者協議会 会長

写真はオスロ大学でのご講演の様子です。

会場を彩る「シン(芯)・アート」とは  
キッチンペーパーなどの紙の芯を使って作ります。市内各所でたくさん  
の方に作っていただきました。 <制作協力 株式会社CNC >

<主催>雲南市・雲南市教育委員会

<後援>文部科学省・島根県・島根県教育委員会・山陰中央新報社・島根日日新聞社